

【学生支援】（学生支援に関する方針）

本学の学生支援に関する基本方針は、学生の主体性を重要視しながら、一人ひとりを大切に、入学から卒業に至るまでの各種学生支援を総合的に展開することによって、学生の「自立・自走する力」（自らの頭で発案し、計画を練り、リーダーシップを持って実行できる人）の育成を促し、同時に愛校心をも育むようなエンロールメント・マネジメント（入学前から、在学中、卒業後までを一貫してサポートする、総合的な学生支援策）を確立することにある。

1. 修学支援に関する方針

1. 学生の自主的な学習を促進するために、大学生として持つべき基礎学力及び学習スキルを修得するための機会を提供する。また、学生が時間や場所にかかわらず自由な学習が可能になるように e-Learning 環境を充実させる。
2. 成績不振者及び留年生を対象とする面談を各学部で実施し、一人ひとりの状況を把握し、組織的かつ継続的な指導を行うことで、学習意欲向上や卒業に繋げる。休学や退学を希望する学生に対しても面談を実施し、一人ひとりのキャリア形成を見据え、修学に関する助言を行う。
3. 留学生に対する日本語教育の充実を図るため、国際交流スペースを中心として日本語教育の支援を行う。障がい等のある学生に対しては、教務課、学生課、学習・教育支援センター、保健室、学生相談室が連携して個別に対応する。

2. 生活支援に関する方針

1. 学生の心身の健康保持・増進、安全・衛生を担保するため、保健室、学生相談室を設ける。各々の学生が必要とする支援を、専門のスタッフによるカウンセリングを中心に、適切に提供する。
2. ハラスメント相談体制を構築し、学生の人権を保障し、快適で安全な学生生活を送ることができるよう配慮する。
3. 様々な事由により、経済的に修学が困難となった学生に対しては、学内外の奨学金等を紹介し、支援を行う。
4. 障がいのある学生、留学生を始め、多様な学生が快適な学生生活を送ることができるよう支援する。

3. 進路支援に関する方針

1. 一人ひとりが卒業後を見据えたキャリアプランを描き、目的を持った学生生活を送ることができるよう、低年次からのキャリア支援プログラムを充実させる。早期から社会を知る機会を提供するとともに、社会で生きる能力（社会人基礎力・汎用的技能）を育む。
2. 主体性の確立を重視し、望ましい職業観・勤労観を醸成する。一人ひとりと同じ向き合ったカウンセリングを提供し、自らにふさわしく、各々が納得できる進路、就職を支援する。
3. 公務員（教員含む）を目指す学生を対象としたガイダンス、対策講座、イベントを充実させ、試験合格を支援する。
4. 障がいのある学生、留学生、大学院生の就職について、各々の希望を尊重した丁寧な個別指導を中心に実施する。

4. 正課外活動に関する方針

1. 集団の中で成長し、自立を促すために、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、ピアサポート活動をはじめとする正課外活動を積極的に支援し、学生の主体的な活動を推進する。

以 上